

白いぼうし

めあて

松井さんのせいにかくや本文に書かれているにおいや色を表す言葉をまとめよう。

☆ 松井さんは、どのような人でしょうか。本文を読んで手がかりとなる言葉やできごとを書きましょう。また、手がかりからどんな人か考えましょう。

手がかりとなる言葉

松井さんは、()

()人。

☆ P二十四『2考えよう』を読んで、本文に書かれているにおいや色を表す言葉を書き出して想像した様子をまとめましょう。

におい・色	想像した様子

漢字の部首

めあて

漢字の部首について知り、漢字を覚えたり使ったりするとき役に立てよう。

教科書31ページ

☆ 次の漢字の部首を考え、() にあてはめましょう。

芽完 雪岩 国切 庭分 妹店 委雲 島園 富顔 教英 数頭

刀

かたな

()

广

まだれ

()

口

くにかまえ

()

艹

くさかんむり

()

女

おんな

()

女

ほくによう

()

宀

うかんむり

()

雨

あめ

()

山

やま

()

頁

おおがい

()

☆ 教科書14ページ、58ページ『漢字を学ぼう』を使って、同じ部首の漢字を調べて、() に書きましょう。

言

いう ごんべん

()

糸

いと いとへん

()

手

て てへん

()

竹

たけ たけかんむり

()

心

いこころ

()

辶

しんによう

()

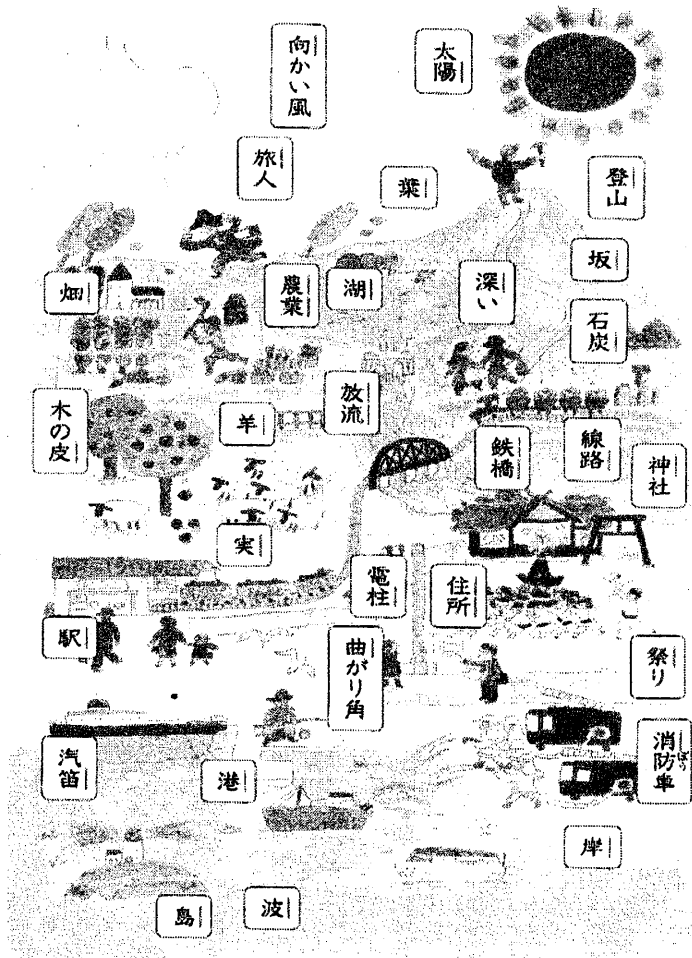
()

三年生で学んだ漢字

教科書32ページ

めあて 三年生で学んだ漢字を正しく使い、絵を見て想像したことを文に書こう。

☆□の中の漢字を読み、ひらがなで読みがなを書きましょう。



☆□の中の言葉や一線の漢字を使って、町の様子を文に書きましょう。

太陽 登山 坂 石炭 深い 葉 旅人 湖 農業 畑 神社 線路 鉄橋 向かい風 木の皮

<p>□</p>	<p>□</p>	<p>□</p>
----------	----------	----------

曲がり角 祭り 住所 電柱 放流 羊 実 駅 岸 波 島 港 汽笛 消防車

ぞうの重さを量る

教科書 34・35 ページ

めあて 「象の重さを量る」という問題をつかみ、それをかい決して
いく考えの道すじを、読み取ろう。

☆ 文章に書いてあることをまとめましょう。

① 問題に

ぞうはとても大きいので、いったい

()

() と思う。

② 問題を

()

魏びという国の王様に、呉ごという国の王様から大きなぞうがおくられた。
魏の王様は、その大きさにおどろいた。

()

③ 解決の

()

この時代の重さを量る道具は、

() か

() で、ぞうは大きすぎてのせることができない。

を知る。

④ 解決に

()

王様のむすこの曹仲ネリウサキフが思いつく。

まず、

()

次に、

()

最後に、

()